

春採湖レポート 2022

令和6年2月

春採湖調査会

目 次

1 水質部門

春採湖の水質

角田 富男 1 ページ

2 動物部門

ヒブナ・フナの産卵調査

針生 勤 2 ページ

ウチダザリガニ捕獲調査

蛭田 眞一、照井 滋晴・ 3 ページ

春採湖で暮らす野鳥たち

釧路市立博物館 4 ページ

3 植物部門

春採湖湖畔の植物

釧路市立博物館 6 ページ

水生植物の動態

神田 房行 12 ページ

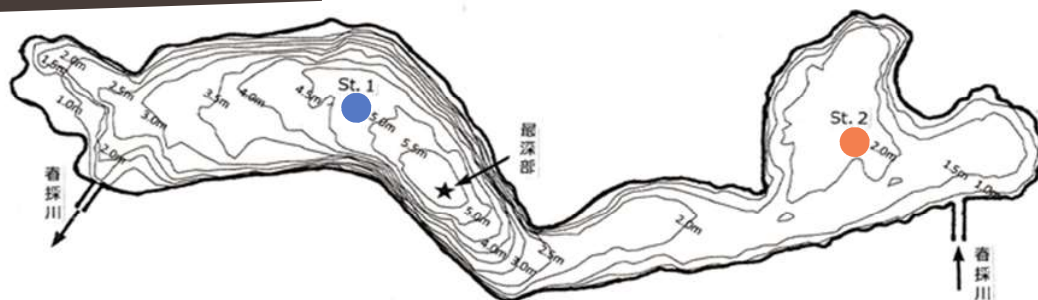
春採湖ダイジェスト 13 ページ

春採湖の水質

過去の春採湖

- 水質汚濁の指標とされるCODは、1990年代初頭までは15mg/ℓ前後と高く、1991年には国の湖沼水質全国ワーストランキングで1位となる
- その後、周辺の下水道の整備や湖尻の春採川の潮止め施設(旧堰)の設置などによって徐々に水質は向上し、2010年代以降は全国ワースト10位前後まで改善

2022年の水質



春採湖の水質調査地点

春採湖の水質調査

● St.1と● St.2で
4月～11月の期間、
月1回(計8回)実施

用語解説

COD(化学的酸素要求量)とは?

- 水中の有機物を酸化剤で化学的に分解する時に必要な酸素の量
- 湖沼・海域の汚濁を測る指標で、COD値が高いほど汚濁度が高い

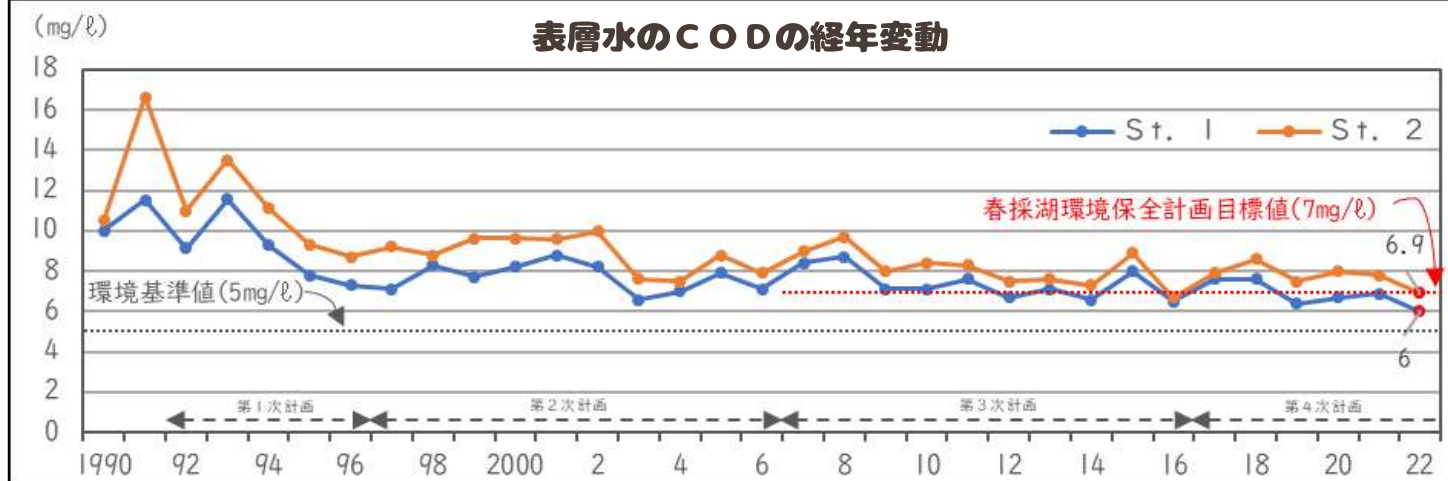
75%値とは?

- 測定値を低い方から順に並べたとき75%目に該当する値。
- 春採湖では8回調査のうち6番目の値を用いる。

表層水の調査地点(St.1とSt.2)の平均値(pHは最小～最大)
(単位はmg/ℓ、ただしpHは単位なし)

	COD 化学的酸素要求量	COD 75%値	DO 溶存酸素	SS 懸濁物	T-N 栄養塩類の全窒素	T-P 全リン	Cl- 塩化物イオン	pH
2021	7.4	8.5	11	18	0.66	0.056	546	7.9～8.8
2022	6.5	7.5	11	11	0.60	0.046	623	8.0～8.9
環境基準値 湖沼B類型		5以下	5以上	15以下	1以下	0.1以下		6.5～8.5

表層水のCODの経年変動



2022年の結果

- 水質汚濁の主要指標であるCOD(化学的酸素要求量)は観測2地点の平均が6.5mg/ℓで、過去最低(水質的には最良)を記録
- COD75%は観測2地点の平均が7.5mg/ℓで、環境基準値(5mg/ℓ以下)を達成していないものの、春採湖環境保全計画目標値(7mg/ℓ以下)には近く、水質の維持ができています
- 他の主要項目は例年と比較して大きな変動はなかった

ヒブナ・フナの産卵調査

調査概要

調査①

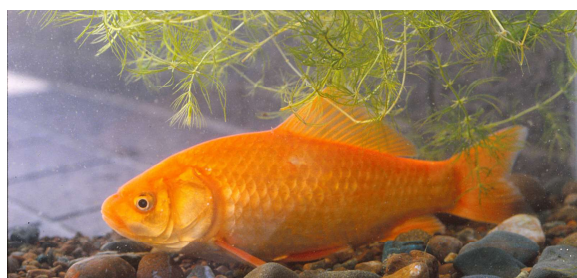
内容：湖岸一帯におけるヒブナ・フナの産卵状況の調査

方法：湖岸一帯の27地点（右図参照）を調査地点として設定
6月22日の1日間で各調査地点の水草等を採集して、
卵が産み付けられているかを目視で確認

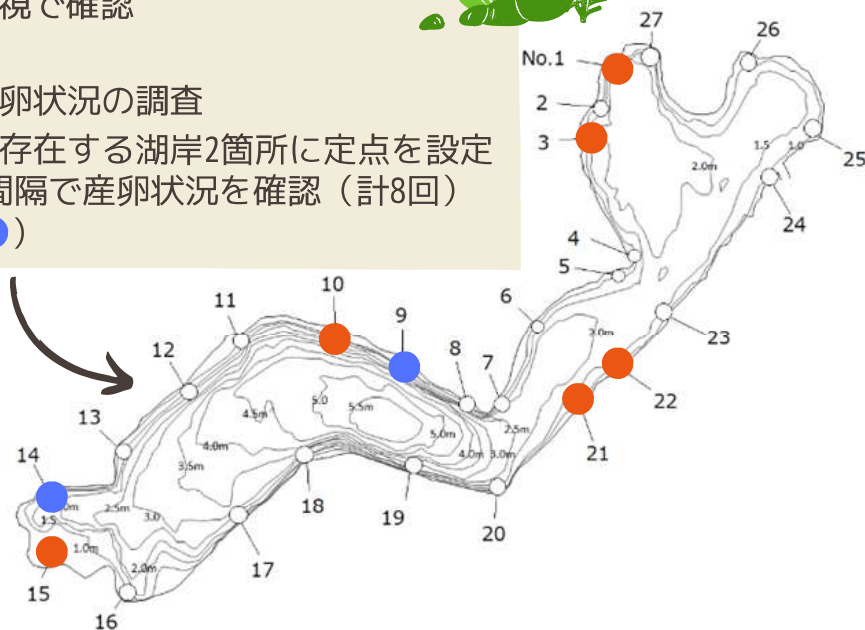
調査②

内容：定点におけるヒブナ・フナの産卵状況の調査

方法：マツモ・リュウノヒゲモ群落が存在する湖岸2箇所に定点を設定
6月13日～7月9日の間に2～4日間隔で産卵状況を確認（計8回）
（定点観測地点 No.9、No.14 ●）



春採湖で捕獲されたヒブナ



調査結果

調査①

- ・ No.1, 3, 10, 15, 21, 22地点で産卵を確認（産卵確認地点 ●）
- ・ No.1, 3, 15, 21, 22ではマツモに産卵を確認
※特にNo.21, 22では多量の卵を確認
- ・ No.10ではリュウノヒゲモに産卵を確認

調査②

- ・ No.9地点では6月17日, 22日, 26日, 30日, 7月3日の5日間で産卵を確認
- ・ No.14地点では6月17日の1日のみ産卵を確認



マツモに付着した卵



エゾノミズダテに付着した卵



産卵調査（水草に産卵があるかを目視で確認）

産卵の傾向

- ・ 調査の結果から2022年の産卵期間は6月中旬～7月上旬であったと考えられる
- ・ マツモは10地点（No.1, 3, 14, 15, 21, 22, 23, 24, 25, 26）で群落が確認でき、リュウノヒゲモは4地点（No.9, 10, 11, 12）で群落が確認できた
- ・ ヒブナ・フナの産卵環境は回復傾向にあると考えられる

ウチダザリガニ捕獲調査

年間総捕獲数の推移



近年の傾向

- 2011年～2020年まで捕獲数減少
- 大型個体の捕獲割合の減少
- 湖内全域で捕獲されている
- 年々水草の生育範囲が拡大

調査方法の変更

- 2020（令和2）年度まで
- 1回目：湖岸全域 5日間
 - 2回目：北東部集中捕獲 10日間



- 2021（令和3）年度から
- 湖岸全域 5日間 x 2回

2022年の捕獲状況

1回目

期 間：7月5日～7月9日
捕獲数：357個体
(雄180個体、雌177個体)

2回目

期 間：9月25日～9月30日
捕獲数：1,421個体
(雄672個体、雌749個体)

2022年総捕獲数量は、

1,778個体
(雄852個体、雌926個体)

2020年に比べて約 **1.7** 倍の捕獲数

- 効率的な捕獲ができています
- 湖内全域で捕獲ができています



春採湖で暮らす野鳥たち

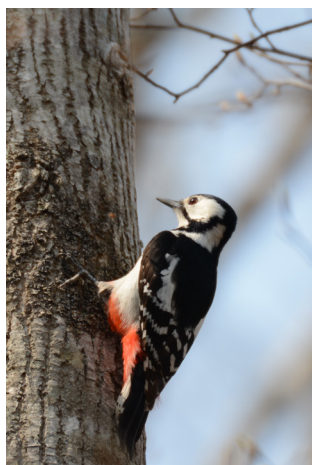
春採湖では約 140 種類もの野鳥が確認されています。小さな湖にも関わらず、この数は日本で確認されている野鳥の種数の 5 分の 1 にもなります。その理由としては、林、水辺、ヨシ原など、春採湖には多様な環境が備わっているからだと考えられます。ここでは湖畔で暮らす野鳥を紹介します。



シマエナガ（左）
1 年を通して観察できます。
林の中を動き回りながら食べ物を探しています。



アオジ（右）
繁殖のため渡来する渡り鳥です。オスは黄色い色が特徴的です。



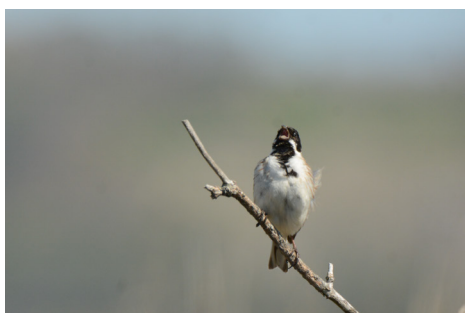
アカゲラ（上）
年中観察されます。
木に穴を開け、その中で子育てをします。



マガモ（左）
湖畔で繁殖する水鳥の 1 種です。ヒナはふ化後からすぐに自分で食べ物を探することができます。



カワアイサ（右）
春と秋に群れで観察されます。集団で水の中へ潜り、魚を狙っています。



オオジュリン（左）
大きな口を目一杯開けて、自分のなわばり誇示やメスにアピールしています。



ミヤマカケス（右）
秋によく観察され、ミズナラの実を木の隙間へ隠す行動が見られます。



ヒドリガモ（左）
秋に渡来し、湖が結氷するまで滞在。
水草を食べながら過ごします。

協力：釧路市立博物館

2022年 春採湖畔探鳥会で確認された野鳥(釧路市立博物館)

日本野鳥の会釧路支部と釧路市立博物館では、毎年「春採湖畔探鳥会」と銘打って4月から11月までの毎月1回、春採湖畔の探鳥会を開催しています。2022年度は4月17日、5月15日、8月21日、9月18日、10月16日、11月20日(6月は別場所にて実施、7月は雨天のため中止)に実施し、次のような野鳥を観察することができました。※名前の順番は「日本鳥類目録改訂第7版」に基づいています。

番号	種名	移動習性	4月17日	5月15日	8月21日	9月18日	10月16日	11月20日	春採湖での生息状況
1	ヨシガモ	夏鳥		○					ときどき飛来
2	ヒトリガモ	冬鳥	○			○	○	○	よく飛来
3	マガモ	留鳥		○		○	○	○	よく飛来
4	カルガモ	夏鳥		○					ときどき飛来
5	ハシビロガモ	冬鳥		○					ときどき飛来
6	コガモ	冬鳥					○		ときどき飛来
7	ホシハシロ	冬鳥					○		ときどき飛来
8	キンクロハシロ	冬鳥					○		ときどき飛来
9	スズガモ	冬鳥					○		ときどき飛来
10	カワアイサ	冬鳥	○				○	○	よく飛来
11	カンムリカイツブリ	夏鳥						○	ときどき飛来
12	ミカイツブリ	冬鳥						○	ときどき飛来
13	キジバト	夏鳥			○			○	ときどき飛来
14	カワウ	夏鳥	○						ときどき飛来
15	アオサギ	夏鳥	○		○	○	○	○	よく飛来
16	ダイサギ	冬鳥			○				ときどき飛来
17	オオバン	夏鳥					○	○	よく飛来
18	ウミネコ	夏鳥				○	○		ときどき飛来
19	カモメ	旅鳥					○		ときどき飛来
20	セグロカモメ	冬鳥					○		ときどき飛来
21	オオセグロカモメ	留鳥	○	○	○	○	○	○	よく飛来
22	トビ	留鳥	○	○	○		○	○	繁殖
23	オジロワシ	留鳥	○		○				ときどき飛来
24	コゲラ	留鳥		○	○	○	○	○	繁殖
25	アカゲラ	留鳥		○				○	繁殖
26	モズ	夏鳥				○			繁殖
27	カケス	留鳥					○		ときどき飛来
28	ハシホソガラ	留鳥	○	○	○	○	○	○	繁殖
29	ハシブトガラ	留鳥	○	○	○	○	○	○	繁殖
30	ハシブトガラ	留鳥	○	○	○	○	○	○	繁殖
31	ヤマガラ	留鳥						○	ときどき飛来
32	ヒガラ	留鳥	○	○	○	○	○	○	繁殖
33	シジュウカラ	留鳥	○	○	○	○	○	○	繁殖
34	ショウドウツバメ	夏鳥			○				よく飛来
35	ヒヨドリ	留鳥	○	○	○	○	○	○	繁殖
36	エナガ	留鳥				○	○		よく飛来
37	エゾムシクイ	夏鳥		○					繁殖の可能性あり
38	センダイムシクイ	夏鳥		○	○	○			繁殖
39	メジロ	夏鳥		○		○			繁殖の可能性あり
40	コヨシキリ	夏鳥				○			繁殖
41	ゴジュウカラ	留鳥	○	○	○	○	○	○	繁殖
42	キバシリ	留鳥						○	ときどき飛来
43	コムケトリ	夏鳥		○					繁殖
44	ノゴマ	夏鳥		○					繁殖
45	ハビタキ	夏鳥	○	○	○	○			繁殖
46	エゾビタキ	旅鳥					○		ときどき飛来
47	ニュウナイスズメ	夏鳥		○					繁殖
48	スズメ	留鳥			○	○	○	○	繁殖
49	キセキレイ	夏鳥			○				ときどき飛来
50	ハクセキレイ	夏鳥	○		○	○	○		繁殖
51	カワラヒワ	夏鳥	○	○	○	○	○		繁殖
52	アオジ	夏鳥	○	○	○	○	○		繁殖
53	オオジュリン	夏鳥			○	○			繁殖
観察種類数		-	18	24	23	24	29	22	-

春採湖畔の植物

春採湖畔には広い緑地が広がり、釧路の市街地からも近く、植物を楽しむ人もたくさん訪れます。自然度は決して高く、豊かというわけではありませんが、観察できる植物は、野山、湿地、樹林の植物、寒地性の植物、外来植物と多種多様です。春採湖畔で見られる植物の一部を紹介します。

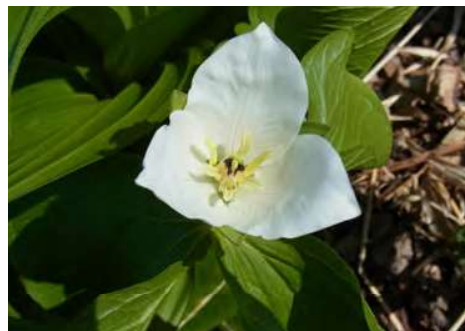
春～初夏



ウラホロイチゲ



エゾエンゴサク



オオバナノエンレイソウ



タチツボスミレ



エゾオオヤマハコベ



ヤマブキショウマ

夏～秋



オオハナウド



シウリザクラ



ハシドイ（釧路市の木）



ツリガネニンジン



オオウバユリ



キツリフネ

協力：釧路市立博物館

2022年 春採湖畔 草花ウオッチングで確認された植物(釧路市立博物館)

釧路市立博物館では毎年5月から9月までの第3土曜日に植物観察会「草花ウオッチング」を行っています。
下記の表は観察会のコースで確認した野草園と遊歩道沿いの被子植物の主なリストです。

このリストにはイネ科、カヤツリグサ科、イグサ科は収録していません。また、個体数が減少し観察が困難なものも入っていません。2022年度の開催日は5月21日、6月18日、7月16日、9月17日です。8月の草花ウオッチングは感染症拡大防止のため中止し、欠測しています。

No.	植 物 名	科名(APG)	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	備 考
1	アキカラマツ	キンポウゲ			つ○		み	
2	アキタブキ	キク	み					
3	アキノウナギツカミ	タデ					○み	ウナギツカミ
4	アズマイチゲ	キンポウゲ	み					
5	アメリカセンダングサ	キク						外来
6	アヤメ	アヤメ		○	み			野草園
7	アラゲハンゴンソウ	キク			○		○	外来
8	イケマ	キョウチクトウ			つ○		み	エングラ ー ガガイモ科
9	イチゲフウロ	フウロソウ			○			
10	イヌタデ	タデ					○み	
11	イヌツルウメモドキ	ニシキギ		つ	み		み	つる性の木
12	イワアカバナ	アカバナ					○み	
13	ウツボグサ	シソ			○			
14	ウマノミツバ	セリ			○		み	
15	ウラボロイチゲ	キンポウゲ						移入?
16	エゾイチゴ(ウラジロ)	バラ	つ	つ○	み			木:エゾキイチゴ
17	エゾイヌゴマ	シソ						
18	エゾイラクサ	イラクサ		つ○	○		み	
19	エゾエンゴサク	ケシ	○み					
20	エゾオオサクラソウ	サクラソウ	○み					
21	エゾオオヤマハコベ	ナデシコ		つ○	○		○み	
22	エゾカラマツ	キンポウゲ						
23	エゾカワラナデシコ	ナデシコ						
24	エゾクサイチゴ	バラ	つ○					
25	エゾゴマナ	キク						
26	エゾスカシユリ	ユリ		○				
27	エゾスグリ	スグリ	○	み	み		み	木 エングラ ー :ユキノシタ科
28	エゾタチカタバミ	カタバミ			○		○み	
29	エゾタツナミソウ	シソ						
30	エゾタンポポ	キク						
31	エゾトリカブト	キンポウゲ			つ		○み	
32	エゾナミキ	シソ						
33	エゾニワトコ	ガマズミ(レンブクソウ)	つ	み	み		み	木エングラ ー :スイカズラ科
34	エゾノウワミズザクラ	バラ	つ○	み				木
35	エゾノカワラマツバ	アカネ			○			
36	エゾノギシギシ	タデ		つ	○み		み	
37	エゾノキリンソウ	ベンケイソウ						
38	エゾクロクモソウ	ユキノシタ					○	
39	エゾノシシウド	セリ		つ○			み	
40	エゾノシモツケソウ	バラ		つ○	み			
41	エゾノタチツボスミレ	スミレ		み				
42	エゾノヨロイグサ	セリ			つ○		み	
43	エゾノレンリソウ	マメ			○		み	
44	エゾハタザオ	アブラナ					み	

「○」は開花、「つ」はつぼみ、「み」は果実を確認したものです。☆はコース以外で確認した植物です。

2022年 春採湖畔 草花ウオッチングで確認された植物(釧路市立博物館)

釧路市立博物館では毎年5月から9月までの第3土曜日に植物観察会「草花ウオッチング」を行っています。
下記の表は観察会のコースで確認した野草園と遊歩道沿いの被子植物の主なリストです。

このリストにはイネ科、カヤツリグサ科、イグサ科は収録していません。また、個体数が減少し観察が困難なものも入れていません。2022年度の開催日は5月21日、6月18日、7月16日、9月17日です。8月の草花ウオッチングは感染症拡大防止のため中止し、欠測しています。

No.	植 物 名	科名(APG)	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	備 考
45	エゾヒメアマナ	ユリ	み					
46	エゾヒョウタンボク	スイカズラ	つ○	み	み		み	木
47	エゾフウロ	フウロソウ			○		○み	
48	エゾミズタマソウ	アカバナ			つ		み	
49	エゾミソハギ	ミソハギ					み	
50	エゾヤマアザミ	キク			つ		○み	
51	エゾヤマザクラ	バラ	○	み	み			木
52	エゾヤマハギ	マメ					み	木
53	エンコウソウ	キンポウゲ	○					移入
54	オオアマダコロ	クサスギカズラ	つ	○	み			別:キジカクシ科、エングラール:ユリ科
55	オオアワダチソウ	キク					○み	外来
56	オオイタドリ	タデ					み	
57	オオウバユリ	ユリ			○		み	
58	オオカサモチ	セリ		○				
59	オオダイコンソウ	バラ		○	○み		み	
60	オオツリバナ	ニシキギ	つ	○	み		み	木
61	オオバコ	オオバコ			○		み	
62	オオバセンキュウ	セリ					○み	
63	オオハナウド	セリ		つ○	○み			
64	オオバナノエンレイソウ	シュロソウ	○	み	み			エングラール:ユリ科
65	オオバナヤエムグラ	アカネ						
66	オオハンゴンソウ	キク						外来
67	オオヤマフスマ	ナデシコ	○	○	○			
68	オオヨモギ	キク			つ		み	
69	オトギリソウ	オトギリソウ						
70	オトコヨモギ	キク						
71	オドリコソウ	シソ	○					
72	オニノゲシ	キク			つ○		○み	外来
73	オニユリ	ユリ						外来
74	オミナエシ	スイカズラ			つ		み	野草園 エングラール:オミナエシ科
75	カセンソウ	キク					み	
76	カタバミ	カタバミ						
77	カラフトダイコンソウ	バラ						
78	カラフトホソバハコベ	ナデシコ			○			
79	カラマツ	マツ	み	み	み		み	木・植栽
80	キクムグラ	アカネ	つ○	○み	み			
81	キジムシロ	バラ	○					
82	キタコブシ	モクレン	○み					木
83	キタノコギリソウ	キク			○		○み	
84	キタミフクジュソウ	キンポウゲ	み					
85	キツリフネ	ツリフネソウ		つ	○み		○み	
86	キバナノアマナ	ユリ	み					
87	キレハハヌガラシ	アブラナ						外来
88	キンミズヒキ	バラ			つ○		○み	

「○」は開花、「つ」はつぼみ、「み」は果実を確認したものです。☆はコース以外で確認した植物です。

2022年 春採湖畔 草花ウオッチングで確認された植物(釧路市立博物館)

釧路市立博物館では毎年5月から9月までの第3土曜日に植物観察会「草花ウオッチング」を行っています。
下記の表は観察会のコースで確認した野草園と遊歩道沿いの被子植物の主なリストです。

このリストにはイネ科、カヤツリグサ科、イグサ科は収録していません。また、個体数が減少し観察が困難なものも入
れていません。2022年度の開催日は5月21日、6月18日、7月16日、9月17日です。8月の草花ウオッチングは感染症
拡大防止のため中止し、欠測しています。

No.	植 物 名	科名(APG)	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	備 考
89	クサノオウ	ケシ	つ○	○み	○み		○み	
90	クサフジ	マメ			○		み	
91	クサレダマ	サクラソウ						
92	クマイチゴ	バラ		○	み			木
93	クルマバナ	シソ						
94	クロユリ	ユリ	つ○					
95	ゲンノショウコ	フウロソウ			○		○み	
96	コウゾリナ	キク			つ○		○み	
97	コウライテンナンショウ	サトイモ	つ	○	み		み	
98	コウリンタンポポ	キク		つ○	○			外来
99	コケイラン	ラン		○	み			
100	ゴボウ	キク			つ○		み	外来
101	コンロンソウ	アブラナ	つ○	○み				
102	サナエタデ	タデ						
103	サラシナショウマ	キンポウゲ		つ	つ		○	
104	サルナシ	マタタビ		つ	○			つる性の木
105	シウリザクラ	バラ	つ	つ○	み		み	木
106	シコタンキンポウゲ	キンポウゲ		○				
107	シャク	セリ	つ○	○み	み			
108	シラヤマギク	キク						
109	シロイヌナズナ	アブラナ	○み	○み	み			
110	シロツメクサ	マメ	(○)	○	○		○み	
111	シロネ	シソ					み	
112	スイレン	スイレン		○	○		○み	外来・植栽
113	ススキ	イネ					み	
114	スズラン	クサスギカズラ		○			み	野草園 別:キジカクシ科、エングラマー:ユリ科
115	セイヨウタンポポ	キク	○み	○み	○み		○み	外来
116	セイヨウノコギリソウ	キク		つ	○		○み	外来
117	センダイハギ	マメ		○	み			
118	ゼンテイカ	ワスレグサ	つ○	○み	み			別:ススキノキ科、エングラマー:ユリ科
119	センボンヤリ	キク	○					
120	ダイコンソウ	バラ						
121	タチツボスミレ	スミレ	○	み				
122	タニソバ	タデ					み	
123	チシマアザミ	キク		つ○	○み		み	
124	チシマオドリコソウ	シソ						外来?
125	チシマザクラ	バラ	○	み	み			木・植栽
126	チシマネコノメソウ	ユキノシタ	○	み				
127	チドリケマン	ケシ					○み	
128	チョウセンゴミシ	マツブサ	つ	つ○	み			つる性の木
129	ツボスミレ	スミレ	○	み				
130	ツマトリソウ	サクラソウ		○	み			
131	ツメクサ	ナデシコ			○			
132	ツリガネニンジン	キキョウ			つ		○み	

「○」は開花、「つ」はつぼみ、「み」は果実を確認したものです。☆はコース以外で確認した植物です。

2022年 春採湖畔 草花ウオッチングで確認された植物(釧路市立博物館)

釧路市立博物館では毎年5月から9月までの第3土曜日に植物観察会「草花ウオッチング」を行っています。
下記の表は観察会のコースで確認した野草園と遊歩道沿いの被子植物の主なリストです。

このリストにはイネ科、カヤツリグサ科、イグサ科は収録していません。また、個体数が減少し観察が困難なものも入っていません。2022年度の開催日は5月21日、6月18日、7月16日、9月17日です。8月の草花ウオッチングは感染症拡大防止のため中止し、欠測しています。

No.	植 物 名	科名(APG)	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	備 考
133	ツリバナ	ニシキギ	つ	つ○	み		み	木
134	ツルキジムシロ	バラ	○	○み				
135	ツルネコノメソウ	ユキノシタ	○	み				
136	ドクゼリ	セリ					み	
137	ドロノキ	ヤナギ		み				木・植栽
138	ナガバギンギシ	タデ		つ	○み			外来
139	ナガバヤナギ	ヤナギ						木
140	ナガボノシロワレモコウ	バラ					○み	ナガボノワレモコウ
141	ナギナタコウジュ	シソ					○	
142	ナズナ	アブラナ	○み	○み	○み			
143	ナナカマド	バラ	つ	○み	み		み	木
144	ナミキソウ	シソ						
145	ニリンソウ	キンポウゲ	つ○					
146	ネコヤナギ	ヤナギ						木
147	ネジバナ	ラン						
148	ネムロブシダマ	スイカズラ	つ	○み	み		み	木
149	ノハナショウブ	アヤメ						野草園
150	ノブキ	キク					○み	
151	ノボロギク	キク	つ○み	○み	○み		○み	外来
152	ノミノフスマ	ナデシコ						
153	ノリウツギ	アジサイ			つ		み	木 エングラー:ユキノシタ科
154	バイケイソウ	シュロソウ	つ	○	み			エングラー:ユリ科
155	ハコベ	ナデシコ	○	○	○			
156	ハシドイ	モクセイ	つ	つ	○		み	木
157	ハッカ	シソ			つ		○み	
158	バツコヤナギ	ヤナギ	み	み				木
159	ハナイカリ	リンドウ						
160	ハナタデ	タデ			○		○み	
161	ハマエンドウ	マメ		○	み			
162	ハマナス	バラ		つ○	○み		み	木
163	ハマハタザオ	アブラナ	○	○み	み			
164	ハルザキヤマガラシ	アブラナ	○	○み	○み			外来
165	ハンゴンソウ	キク			つ		○み	
166	ヒオウギアヤメ	アヤメ		○	み			
167	ヒトフサニワゼキショウ	アヤメ	つ○	○み				外来
168	ヒナマツヨイグサ	アカバナ		○	○み			外来
169	ヒメズイ	クサスギカズラ		み				別:キジカクシ科、エングラー:ユリ科
170	ヒメジョオン	キク		つ○	○		○み	外来
171	ヒメスイバ	タデ	つ	○	○み			外来
172	ヒメムカシヨモギ	キク					○み	外来
173	ヒヨドリバナ	キク			つ		○み	
174	ヒロハクサフジ	マメ						
175	ヒロハツリバナ	ニシキギ						主幹枯死、脇芽生存
176	ヒロハヒルガオ	ヒルガオ			○			つる性

「○」は開花、「つ」はつぼみ、「み」は果実を確認したものです。☆はコース以外で確認した植物です。

2022年 春採湖畔 草花ウオッチングで確認された植物(釧路市立博物館)

釧路市立博物館では毎年5月から9月までの第3土曜日に植物観察会「草花ウオッチング」を行っています。
下記の表は観察会のコースで確認した野草園と遊歩道沿いの被子植物の主なリストです。

このリストにはイネ科、カヤツリグサ科、イグサ科は収録していません。また、個体数が減少し観察が困難なものも入っていません。2022年度の開催日は5月21日、6月18日、7月16日、9月17日です。8月の草花ウオッチングは感染症拡大防止のため中止し、欠測しています。

No.	植 物 名	科名(APG)	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	備 考
177	フタバハギ	マメ						
178	フッキソウ	ツゲ	○み	み	み・つ		み・つ	
179	フデリンドウ	リンドウ	○					
180	フランスギク	キク	つ	つ	○			外来
181	ヘラオオバコ	オオバコ		○	○		○み	外来
182	ヘラバヒメジョオン	キク			○		○み	外来
183	ホザキシモツケ	バラ			○		み	木
184	ホソバノキリンソウ	ベンケイソウ						
185	マイヅルソウ	クサスギカズラ	つ○	み	み			別:キジカクシ科、エングラール:ユリ科
186	マユミ	ニシキギ	つ	つ	○み		み	木
187	マルバトウキ	セリ		つ○	○み		み	
188	ミズナラ	ブナ	つ	み	み		み	木
189	ミズバショウ	サトイモ	み	み	み			移入?
190	ミゾソバ	タデ					○み	
191	ミツバ	セリ			○		○み	
192	ミツバツチグリ	バラ						
193	ミツバフウロ	フウロソウ					○み	
194	ミツモトソウ	バラ			○		み	
195	ミミコウモリ	キク			つ		み	
196	ミミナグサ	ナデシコ	○	○	○み			
197	ミヤマアキノキリンソウ	キク					○	
198	ミヤマザクラ	バラ	つ	み	み		み	木
199	ミヤマニガウリ	ウリ			○み		○み	つる性
200	ミヤママタタビ	マタタビ	つ	つ	み			つる性の木
201	ミヤマヤブタバコ	キク						
202	ムカゴイラクサ	イラクサ					み	
203	ムシトリナデシコ	ナデシコ			つ		○み	外来
204	ムラサキケマン	ケシ	○	○み				
205	ムラサキツメクサ	マメ	(○)	○	○		○み	外来
206	メマツヨイグサ	アカバナ			○		○み	外来
207	ヤナギタンポポ	キク					○み	
208	ヤブジラミ	セリ			つ○		み	
209	ヤブマメ	マメ					み	
210	ヤマハタザオ	アブラナ		○み				
211	ヤマハハコ	キク			つ		○み	
212	ヤマブキショウマ	バラ	つ		○み			
213	ヤマブドウ	ブドウ	つ		み		み	つる性の木
214	ユウゼンギク	キク					○	外来
215	ヨブスマソウ	キク			つ		み	
216	レンブクソウ	ガマズミ(レンブクソウ)	○み					エングラール:レンブクソウ科
217	ワサビ	アブラナ	○					

「○」は開花、「つ」はつぼみ、「み」は果実を確認したものです。☆はコース以外で確認した植物です。

水生植物の動態

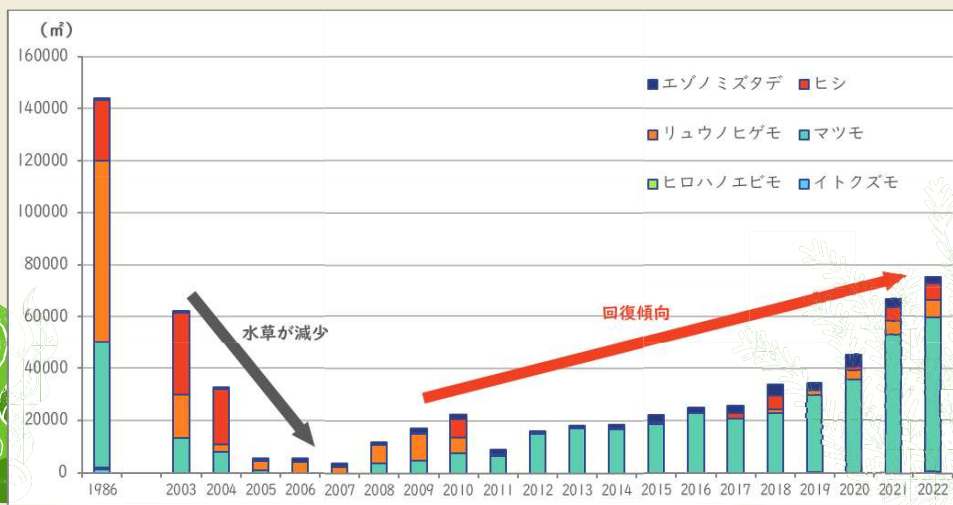
水草の分布面積の推移

2022年水草調査について

調査日：2022年7月28日

確認した水草：5種

- マツモ
- リュウノヒゲモ
- エゾノミズタデ
- ヒシ
- ヒロハノエビモ



2022年水草の分布図



マツモ

- 南西部を中心に大きな群落を形成
- 湖北部での生育確認される等、年々面積が増加

リュウノヒゲモ

- 2011～2017年には確認されなかったが、2018年以降継続的に確認され、面積が増加



エゾノミズタデ

- 1986年と同じ場所に常に生育しつつ、2011年以降は面積が増加傾向だったが、近年は減少傾向

ヒシ

- 2020年以降は面積が増加傾向
- 分布面積の年次変動が激しい



ヒロハノエビモ

- 1986年以来、2019年に再確認され、2020年・2021年は確認されず、2022年は3年振りに確認

水草の傾向

- 一時期水草の面積が激減していたが、2011年以降水草全体の面積は増加
- マツモの面積増加が大きく、ヒブナの産卵や水鳥などのえさ場にとっては良い傾向

春 採 湖 ダイジェスト

春採湖に関する事で、情報が
ありましたら、下記のお問い
合わせ先までご連絡ください。

◆令和4年度に行われた春採湖に関するイベント等を紹介します◆

月	主 な 行 事 [] 内は実施主体等	特記事項
4月	16日: 春採湖ネイチャーセンター開館 17日: 春採湖畔探鳥会 [市立博物館](11月まで開催)	7日: 春採湖全面解氷
5月	21日: 春採湖畔草花ウォッチング [市立博物館](9月まで毎月1回開催)	16日: サクラ開花※
6月	22日: イオン釧路昭和店2回楽器屋前 「春採湖なんでもパネル展」[市環境保全課](28日まで実施) 17日: 出前講座(春採湖の外来生物について)[市環境保全課] 11日: しらべてみよう春採湖の昆虫 [市立博物館](9月まで毎月1回開催) 22日: 塩分躍層調査 [市環境保全課](3月まで毎月1回調査) 22日: ヒブナ生息実態調査[市立博物館]	
7月	5日: 春採湖ウチダザリガニ捕獲事業 [市環境保全課](9日まで実施)	
8月		
9月	26日: 春採湖ウチダザリガニ捕獲事業 [市環境保全課](30日まで実施)	
10月	12日: 出前講座(春採湖の外来生物について)[市環境保全課] 30日: 春採湖ネイチャーセンター閉館	18日: カエデ紅葉※
11月		
12月	14日: 釧路市役所1階 「春採湖なんでもパネル展」[市環境保全課](19日まで実施) 20日: 釧路市中央図書館7階 「春採湖なんでもパネル展」[市環境保全課](27日まで実施)	17日: 春採湖全面結氷
1月		
2月	18日: 春採湖畔冬のいきもの観察会 [市立博物館]	
3月		

※ 札幌管区气象台ホームページより



「出前講座 春採湖の外来生物について」

発行／春採湖調査会

<お問い合わせ先>

春採湖調査会(庶務)
釧路市市民環境部
環境保全課自然保護担当
TEL: 0154-31-4594
FAX: 0154-23-4651

E-mail: ka-shizenhogo@city.kushiro.lg.jp